



①憲政史上初の女性首相秘書官(2013年) 安倍晋三首相から辞令を受ける山田真貴子氏。



②育児休暇をとり、長女(左)を幼稚園に迎えに来た湯崎英彦広島県知事(広島県広島市, 2010年)

③電車の優先席の表示



④障害者の視点に立った街づくり 車いすの人が入できる券売機。



私たちの身の回りで、平等権を尊重したものに何かがあるか探してみよう。

## 2

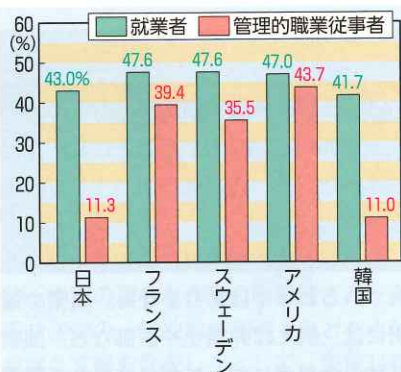
### 法の下での平等

私たちが平等に生きるための権利にはどのようなものがあるでしょうか。

#### ⑤法の下での平等

(憲法第14条)

すべて国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。



【平成27年版男女共同参画白書】

⑥就業者および管理的職業従事者における女性の割合

### 法の下での平等

人は顔や体格はもちろん能力も異なります。しかし法はそのようなちがいを内容もち、すべての国民に等しく適用されなければなりません。憲法は「すべて国民は、法の下に平等」(14条)であり、社会的身分などによって差別されてはならないと定めています。そうした差別は一日も早くなくすことが求められます。法の下での平等、平等権。そうした差別は一日も早くなくなります。

一方で、憲法は人間の才能や性格のちがいを無視して保障しているわけではありません。憲法が禁止する差別的な根拠をもたないものと考えられているからです。意識は社会を混乱させ、個性をうばう結果になること

例えば人は大人と子ども、親と子、先生と生徒、男と女、下のように、年齢や立場のちがいなどに基づいて人によって異なる権利や義務があります。人間関係をうまく維持していくためには、ちがいを認め合いながらちがいを人間として尊重する態度が求められます。

また、憲法が保障する平等とは投票や教育、雇用、選挙などという機会(機会の平等)です。わかりやすく言えば、運動会の競走への参加の機会は平等に開かれていない人が、それぞれの成績がちがってくるのはやむを得ない経済的活動などによって格差が広がらないように、